



たくさんの人が並ぶ映画公開の初日

### 映画『北のカナリアたち』の全国公開

これまで、本市をはじめ、この地域を挙げて口ケを支援してきた、映画『北のカナリアたち』

このたびの事業は、私自身が地域に向き皆さんと語り合う『ふれあいトーク』でいただいたご意見をきっかけとし、担当課と地域の皆さんが意見交換を重ねながら実現したものです。開催にあたっては、地域の民生児童委員、地域保健推進委員などの皆さん、天北連合町内会のご協力をいただき準備を進め、名称や開催内容も地域の皆さんに決めてもらうなど、



ゲームを楽しむ参加者の皆さん

開催後のアンケート調査でも、「大変良かった」「また参加したい」との声が数多く寄せられました。11月3日、全国327の映画館で公開されました。公開初日から2日間で観客動員16万人を超える等、好調なスタートを切ったとの報道がなされています。

全国公開に先駆け、本市では10月7日、総合文化センターを会場に「先行上映会・感謝の集い」を開催しましたが、定員の3倍以上の応募が寄せられ、この映画に対する市民の皆さんの期待の大きさを感じたところでもあります。本市としては、映画公開を観光客誘致に結び付けるため、口ケ地となった関係自治体と「最北推進協議会」を組織して、全

国展開でキャンペーンに取り組んできました。また、稚内商工会議所では、首都圏のエンジニアント招へいや、映画の封切に合わせた東京などでの街頭アンケートにも取り組んでいるほか、宗谷総合振興局では口ケ地マップを作成するなど、映画公開前から全市を挙げてPR等に取り組んできました。

先般取りまとめた本市の本年度の上期観光入込客数は、総数36万8,500人、前年比5.8パーセント増と、上期としては10年振りに前年を上回りました。なかでも道外客が10パーセント以上増え、宿泊客も震災前の一昨年度と比較し

ても10パーセント以上増えるなど、低迷を続けてきた観光に久しぶりに明るい兆しが見られています。映画『北のカナリアたち』の観客動員数は、その後も、順調に伸びているとの報告を受けています。今後も関係自治体と連携を図りながら、これを機に一人でも多くの皆さんに、この地を訪れてもらえるよう、より効果的な誘致宣伝を行っていきます。

### 開業医誘致助成第2号となる小児科医院の開業

開業医誘致制度の助成第2号となる小児科医院「こどもクリニックはぐ」が、11月10日に竣工式を終え、13日、富岡4丁目に開業されました。

多くの市民が待ち望んでいた開院であり、あらためて心から感謝の意を表します。

稚内のまちと人が大好きだという埼玉県出身の「伊坂雅行医師」は、神奈川県相模原市で長年、勤務医をされ、子どもの

生命を守る「医療」への熱い思いをお持ちです。

また、悩みを抱える保護者の皆さんの子育て支援にも力を注ぎたいとの意欲もうかがっており、わがまちの小児医療の充実と確信しています。



竣工式の関係者によるテープカット

感染症専用を含む3つの診察室をもち、待ち時間に配慮したスペースと、授乳室、医療・健康の相談や教室開催も可能なセミナールームの設置など色々と工夫が施されています。

ご本人をはじめ看護師、診療助手や事務職員の6人体制で診療にあたるということで、外来のほか、乳幼児健診や予防接種など健康増進の場や、学校保健の場など様々な機会に、ご尽力いただけるものと、期待しています。

開業医誘致につきましては、今後、地元医師会など関係者の皆さんのご協力をいただきながら、この地域の医療環境の更なる充実を目指し取り組んでいきます。

### 12月補正予算

【一般会計】	1億 7,347万 9千円
【特別会計】	760万 4千円
【企業会計】	- 円
【補正総額】	1億 8,108万 3千円

※一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額の前年度同期比は、2.2%の減となります。

#### 【一般会計補正予算の主な内容】

- ◎ 総務費…… 4,319万 3千円  
市内交通路線維持事業費、天北線生活交通路線維持事業費、自主防災組織育成事業費 ほか
- ◎ 民生費…… 1億 2,461万 7千円  
生活保護扶助費 ほか